

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2023年8月
第229号

もくじ

報 告.....	2
各部局士会活動案内・報告.....	11
お知らせ.....	17
編集後記.....	18

一般社団法人 千葉県理学療法士会 創立50周年記念式典



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.230 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日
No.231 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日
No.232 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日

No.233 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日
No.234 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日
No.235 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日

❖ 報 告 ❖

❖ 千葉県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会特集

● 一般社団法人千葉県理学療法士会
創立50周年記念式典・祝賀会を終えて

一般社団法人 千葉県理学療法士会
会長 田中康之

2023年5月20日、ヒルトン東京ベイ（浦安）にて一般社団法人千葉県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会を執行了いました。

本来であれば、会員の皆様全員とお祝いをすべきところではありますが、諸般の事情から理事・監事・部長・ブロック長等を中心に、行政や国会議員、県議や県内の保健・医療・福祉の関係団体の長、そして関東甲信越ブロックの士会長をお招きして行わせていただきました。会員の皆様には大変申し訳ございません。

さて、本記念行事ですが、ご来賓の皆様の出欠の調整で各種準備がギリギリになってしまいました。4月後半それぞれゴールデンウィーク直前に当時の副会長や局長に号令を出した感じとなり、運営に関わっていただいた皆様には大変ご苦勞をおかけいたしました。

しかし、千葉県理学療法士会は凄い！1か月を切る中での準備でのチーム力は凄い！大変多くの会員の方々にご協力をいただき、その運営はマジに「凄い！」の一言に尽きる。



ご臨席いただいた来賓の皆様方からは「千葉県理学療法士会の力強さ、まともは凄い」と沢山のお褒めの言葉を頂戴しました。また、関東甲信越ブロックの各士会長からは「千葉県士会が羨ましい」と嬉しいお言葉をいただきました。



これも、日々の県士会活動を支えてくださっている会員の皆様がいらっしゃるからこそそのことと本当に感謝申し上げます。

ここで延々と式典・祝賀会の感想を書いても今一つですので、私の式典でのあいさつ文を転載させていただきます。これをご一読いただければ、当会の50周年の概要とご臨席いただいたご来賓がどのような方々なのか等、全てお判りになると思います。長文となりますが、是非ご一読ください。

◎ 「会長挨拶 ～一般社団法人 千葉県理学療法士会 50周年を迎えて～」

本日は公務ご多用のところ、熊谷知事はじめ大変多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。一般社団法人 千葉県理学療法士会会長の田中でございます。会員5,000人を代表いたしまして、少々お時間をいただき、御礼とご挨拶申し上げます。

千葉県理学療法士会は、1971年（昭和46年）に初代会長 五島 稔先生の下、僅か8名の方々が集まり創立されたと伺っております。

実は今年で創立52年目でございます。新型コロナウイルス感染症蔓延のため、式典の開催を見送っており



ましたが、一つの区切りとして実施すべきと考え、本日開催の運びとなりました。

さて、皆様。お手元の式次第をお開きいただき、グラフをご覧ください。

創立時8人の当会ですが、私も1期生としてお世話になった千葉県医療技術大学校理学療法学科が平成2年に新設されてからは指数関数的に会員数が増え、本年5月1日現在、正会員4,830人、休会中・入会手続き中を合わせますと5,724人、会員所属施設は県内726施設となっております。

医療系の職能団体としては、県内2位か3位の会員規模と聞いております。

これだけの規模の職能団体である以上、自らの利を追求するだけでなく、県民の暮らしに寄与できる団体として成長すべきと痛感しております。

さて、式次第の裏面をご覧ください。

当会では会員の質の向上、そして県民への貢献を目指し、「学術活動と職能活動の両輪を回す」をモットーに、紙面のような組織体制で活動しております。

本日、これから各部署で中心的な活動を担っている会員に参加してもらっております。日々の活動、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

ご臨席賜りました来賓の皆様におかれましては、この組織図をご覧ください、「こんな組織があるなら、こんな仕事をコラボしたい」などご検討いただければ幸いです。そのようなお声かけが当会の発展につながるものと考えております。

一例ではございますが、ご臨席賜っております熊谷知事が千葉市長でいらっしゃった際に、2020東京パラリンピックに向けた千葉市の取り組みとして、パラスポーツを市民へ「生涯スポーツ」（生涯は一生涯の生涯です）として普及できないかとお声かけをいただき、当会としてお手伝いさせていただきました。その時中心的に関わってくれたのが「障がい者スポーツ支援部」でした。

それを機に、当会でもパラスポーツへの取り組みが変わったと理解しております。熊谷知事、その節は誠にありがとうございました。

このように、皆様からのお声かけが当会、会員の成長につながりますので、是非、よろしく願いいたします。

さて、今一度、式次第の内側をご覧ください。

ここに記している沿革は、当会のこれまでの活動の

ごく一部にすぎません。その活動は多岐にわたっておりますが、県内の活動としていくつかの転機があったと理解しております。

一つは、当時の会長で現監事の宮前信彦先生の下、1996年（平成8年）3月に開催された第1回千葉県理学療法士学会です。この学会が当会の学術活動が1段も2段も上がる契機になったと思っております。なお、本学会は昨年度から「千葉県理学療法学会」と名を改め、更なる学術活動の発展を目指しております。

また、2007年（平成19年）から10年間開催されたりハビリテーション公開講座がございます。

今では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の連合体の活動が全国の都道府県そして市町村単位でも見られますが、この公開講座は正にその先駆と言えます。

本日もご臨席賜りました当時の千葉県リハビリテーション医学懇話会会長の吉永勝訓先生を中心に、当時の当会会長・現監事の吉田久雄先生、そして作業療法士会、言語聴覚士会の皆様と活動をさせていただいた歴史がございます。

この活動が、現監事の西山晴彦先生を会長として2016年（平成28年）1月に創設された千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議の基盤になったと理解しております。

そして吉田先生はじめ当時の役員の皆様のご尽力により2009年（平成21年）に一般社団法人化されたことも大きな転機であったと思います。

また、前千葉県千葉リハビリテーションセンターセンター長 吉永勝訓先生を会長とし2015年（平成27年）に創設され、現在は同センターセンター長 菊地尚久先生を会長としている千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（ちばJRAT）にも参加をさせていただいております。ちばJRATの活動の際には、理学療法士そして当会が大きく貢献していると自負しております。また、このことにより会員の災害対応についての意識の向上につながっていると理解しております。





そして、本日は金江副会長にご臨席を賜っておりますが、平成29年12月に千葉県医師会の入江会長のお声かけで、「医療は多職種により成り立つ」「千葉県全体を一つの医療機関と考える」という理念のもと、18の医療関係団体から設立されました千葉県医療推進協議会に加えていただきました。

本日も、本協議会より、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、作業療法士会、言語聴覚士会、歯科衛生士会、助産師会、鍼灸マッサージ師会、診療放射線技師会、臨床検査技師会、臨床工学技士会、獣医師会から大変ご多用のところ会長やその代理の方にご臨席賜りました。誠にありがとうございます。



千葉県理学療法士会においても、本協議会の中で皆様方と歩調を合わせ、県民へのより良い医療提供に尽力させていただきますので、今後ともよろしく願っています。

この沿革には書かれておりませんが、昨今当会は県の様々な会議体からお声掛けをいただいております。

千葉県医療介護総合確保促進会議、千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会、千葉県循環器病対策推進協議会、等、枚挙にいとまがありません。

このような会議体で、本日はご臨席を賜っておりま

す、千葉県高齢者福祉施設協会、介護支援専門員協議会、医療ソーシャルワーカー協会、訪問看護ステーション協会の皆様にも大変お世話になっております。理学療法士にとって、福祉関係、訪問関係の皆様との繋がりは今後の発展に必要不可欠なものと考えております。今後ともよろしく願っています。

また、これは少々個人的なことになってしまうかもしれませんが、「理学療法士会ももっと福祉用具に興味をもって勉強しないとダメ!」と千葉県在宅サービス事業者協会の畔上加代子初代会長からお声掛けをいただき、コロナ前にはいろいろな勉強の機会を与えていただきました。実はその際に、畔上様から本日ご臨席賜りました衆議院議員の小林鷹之先生にお引き合わせをいただきました。今さらながら感謝の言葉しかございません。

これまでご紹介させていただきました皆様だけでなく、当会は本当に多くの皆様に支えられております。会計士の高橋先生、司法書士の吉野先生、当会員から初めての地方議員となられた岡田先生、県議時代に私の職場でもお世話になっておりました参議院議員の臼井先生、そして県政における医療問題解決に向けてご尽力いただいております千葉県議会の石橋先生。誠にありがとうございます。

また、斉藤協会長、小川先生、田中先生をはじめとした日本理学療法士協会の皆様、そして日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会の皆様、さらには多く県内養成校の皆様のお支えがあつての50年と、心より感謝申し上げます。



長くなりましたが、最後に一つ。

私が、日々自分に言い聞かせていることがあります。「今日はこれまでの人生の最高の日、明日に向かっての最低の日」。

たとえ今日がどのような日でも、楽しい日でも、苦

しい日でも、しかし、それが今までの人生の積み重ねである以上、「今日が人生で最高の日なんだ」と受け入れ、自分を鼓舞すること。

一方で、今日は既に「過去」です。したがって、どんなに楽しい日であったとしても、そこに甘んじることなく、ここを最低ラインとして明日に向かって努力する。失敗した日は当然ですが、成功した日楽しい日であればなおさらです。このような思いから、日々、仕事の帰り、会合の帰りには、必ずこれをつぶやくようにしています。

さて、本日はこれだけ大勢のご来賓にご臨席を賜り、そしてこれだけ大勢の会員が、この50年という区切りの会にご参加いただきました。これこそ当会のこれまでの50年にとってまさに「最高の日」でございます。しかし、今日に甘んじていたら成長はありません。当会は、本日を明日からの底辺として、リ・スタート、更なる飛躍ができるよう会員一同尽力する所存でございます。そのことが皆様への恩返しであり、県民への貢献であり、当会の責務と考えます。

そのためにもなお一層、皆様からのお力添えが必要です。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げ、大変長くなりましたが、私からの御礼・ご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

●感謝状を贈呈させていただきました

県士会50周年を機に、当会の発展にご尽力いただきました歴代の会長、そして協会長受賞をされている方々の中で、既に当会および日本理学療法士協会を退会されていらっしゃる方々に、「感謝状」をお送りさせていただきました。

感謝状をお送りした諸先生方については、今後県士会独自の特別会員とさせていただき、ご本人がご希望される場合は正会員と同様に県士会が主催する事業への参加や刊行物などをご案内させていただくこと、県士会が主催する学会や研修会等での講師をお願いさせていただけるようにしたいと考えております。

式典当日感謝状を贈呈させていただいた諸先生方

渡辺 京子 様

青木 主税 様

嶋田 裕敬 様



●創立50周年記念式典を担当して

一般社団法人 千葉県理学療法士会
副会長 薄 直 宏

気がつけば、50周年記念式典の1週間前でした。新年度に入り、理事会やその他会議などめまぐるしく日々が過ぎており言い訳を通り越して様々な役員にご迷惑をおかけしていました。田中会長、児玉副会長、奥村事務局員に私の現状の進捗をお伝えし今後の進め方について指南してもらいました。私自身が混乱しており3名の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。また松川局長には、式典の来賓席次やスタッフ配置等サポートしていただきました。式典役割のスタッフの配置や50名に迫る来賓の席を適切に決めていただき、本当に助かりました。

今回の50周年記念式典は、県士会では久々のワンチームでの活動でした。式典チームは私がこんな状況にも係わらず、様々な士会役員が役割を担っていただきました。式典には熊谷県知事や小林鷹之衆議院議員、臼井正一参議院議員、田中まさし参議院議員、小川かつみ前参議院議員、石橋県議会議員や金江千葉県医師会副会長など多くの御来賓にご臨席いただきました。また斉藤日本理学療法士協会会長や県内の職能団体の長にも数多くご参加いただきました。多くのVIPにご臨席いただき、間違えのないように1つ1つ丁寧に対応する必要がありました。それらをそれぞれのスタッフが適切に持ち場を担っていただきました。



ホテル入り口からの誘導は、小川局長、来賓の控え室誘導は高橋副会長、式典受付には松川局長、児玉副会長、山岡理事、松田理事、中村理事、小林理事、藤井理事それ以外にも多くの県士会員の方々に助けていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。



式典開式の辞の役割を終え、田中会長の挨拶、来賓祝辞、感謝状の贈呈、シンポジウムが滞りなく進行し、あっという間に児玉副会長の閉式の辞となりました。



堅苦しい式典では無く千葉県士会らしくアットホームな会になりました。きっとそれはこれまでの先輩達が仲間達とワイワイ楽しく築いてきた活動を私たちが引き継いだからなのかなとちょっとうれしさを感じた時間でした。



改めて最後に自慢したいのは、素晴らしい仲間達です。コロナが蔓延してWEBでの関わりが多くなってきましたが、このように様々な仲間と同じ空気を吸い会話し汗を流せることは私にとってかけがえのない時

間です。そこには実感があります。またこの先を見据え活動できることがスタッフとして関わられた大きな財産だと感じております。

県士会の次の式典やワンチームの活動の際に、私と同じように楽しい汗をかいてもらえるように次に繋げられればと思います。

●創立50周年記念祝賀会 開催報告

一般社団法人 千葉県理学療法士会
副会長 竹内 弥彦

会員の皆さま、こんにちは。去る2023年5月20日にヒルトン東京ベイ（舞浜）にて開催されました、千葉県士会創立50周年記念の祝賀会を担当しました副会長の竹内です。本来であれば、千葉県士会を支えてくださっている会員の皆さまとともに盛大にお祝いしたかったのですが、さすがに5,000人規模での祝賀会は難しく、今回は来賓を招いて代表者のみでの祝賀会とさせていただきましたので、県士会ニュースの紙面をお借りして、会員の皆さまにご報告させていただきます。

元々、50周年記念式典・祝賀会の実行委員会に属していなかった私は「県士会発足から50年か……感慨深いなー。コロナが5類感染症になり、久々に対面でのお祝いの会で楽しみだなー」と呑気に構えていた4月中旬、田中会長から「急ですまないが、祝賀会を仕切ってくれないか」とのメールが届きました。「い、い、今から!？」とギア5に進化したモンキー・D・ルフィのように驚きで目が飛び出しました。この時点で開催まで1か月を切っており、準備に時間をかけるタイプの私としては、間に合うのか大きな不安がありましたが、50周年の記念すべき祝賀会を成功させるべく、まずはワーキンググループの人選から始めました。受付担当者に船橋市役所の松川さん（前公益事業局長）、VIP対応担当者に東邦大学佐倉病院の小川さん（前職能局長）、記念品担当者に旭福祉会やすらぎ園の高橋さん（副会長）を人選させていただき、いつもの無茶ぶり力を発揮して3名をお願いをしました。有難いことに、3名とも二つ返事で任を受けていただきました。



問題は、祝賀会のメインとも言える「余興」担当者の人選でした。祝賀会の余興とはいえ、参加者には現役の国会議員や日本理学療法士協会会長、医師会をはじめ医療保健各団体の代表者がいるなか、粗相があってはいけません。



人選も慎重にならざるを得ませんでした。そんななか、ふと脳裏に浮かんだのが、私が卒業したPT養成校の後輩である西本さん（前ワークライフバランス部長）でした。彼女にも二つ返事で受けていただきました。このように短時間での準備期間にも関わらず、昔からの仲間にご協力をいただき、祝賀会のワーキンググループが発足しました。



私の人を見る目に狂いはなく、受付担当の松川さんには、完璧な受付体制および座席表を作成いただきました。VIP対応担当の小川さんには配慮のいき届いた



VIP対応案を提示いただき、記念品担当の高橋さんには式典記念品担当者の児玉さん（前副会長）との見事な連携にて、センスのある扇子……とチーバくんポーチを迅速にご用意いただきました。これらの見事な準備により、祝賀会に参加された方々に喜んでいただけたのは言うまでもありません。また、特筆すべきは「余興」でした。西本さんを中心に会員有志で結成された余興ワーキンググループによる工夫を凝らした企画運営により、大盛り上がりの余興でした。私は医療関係団体の代表者が集まるテーブルのホスト役でしたが、隣席の臨床検査技師会代表者は「(余興の) 司会者が素晴らしい！PTにしておくのは勿体ないわ！」と声を張り上げて喜んでくれていました（「PTにしておくのが勿体ない」の意味は取えて聞きませんでした）。ディズニーオフィシャルホテルでの祝賀会らしく、ミッキーのカチューシャをつけた司会の西本さんが会場内を駆け巡り、余興ワーキンググループ発案の50周年に因んだクイズや出し物で会場は大いに盛り上がり、成功裏に幕を閉じることができました。



COVID-19の影響により、ここ数年は関東甲信越ブロック各士会の記念式典や祝賀会が中止またはリモート開催になっていたこともあり、千葉県士会50周年の式典・祝賀会が対面にて盛大に開催できたことを心より嬉しく思います。

最後に、急な依頼にも関わらず祝賀会の余興を企画・運営くださった、船橋二和病院の高木さん、東京女子医大八千代医療センターの松尾さん、輝生会の御代川さんに心より御礼を申し上げます。また、当日の受付や座席案内等でご協力をいただきました県士会役員・会員諸氏にも心より御礼を申し上げ、創立50周年記念祝賀会開催のご報告とさせていただきます。

●千葉県理学療法士会創立50周年記念式典と祝賀会に参加して

印旛ブロック長 豊岡 毅

今回印旛ブロック長として、千葉県理学療法士会の創立50周年記念式典と祝賀会に参加する機会をいただきました。諸先輩方を差し置いて甚だ差し出がましいですが、一言感想を述べさせていただきます。自分が理学療法士となってまだ20年あまりですが、県士会は50年もの月日を重ねており、改めて諸先輩方の積み上げてきた歴史のある事業に携われていることに感謝の念を抱きました。

会場は舞浜にあるヒルトンホテルであり、いわずと知れた一流のホテルです。その中でも結婚式会場にも使用される広い会場が準備されており、まずは記念式典が執り行われました。式典には千葉県知事をはじめ、多くの国会議員の先生方も御参列くださり、千葉県理学療法士会に対する激励のお言葉を頂戴しました。このような豪華なメンバーが揃う式典には参列したことがなかったため、非常に貴重な経験をさせていただくことができました。スピーチの内容は割愛させていただきますが、理学療法士に期待する役割と使命ともいべき社会的責任は、言葉には言い表せないほどであり、先人たちの経験や情熱が積み上げてきた成果を共感することができました。このような礎を広く全ての会員に共有できるようにパッションを広めていくことが大切なのだと痛感いたしました。



続いて行われた祝賀会では日本理学療法士協会会長である斉藤秀之会長をはじめ、参議院議員である田中昌史先生や、関東甲信越ブロックにおける各士会長、千葉県の医師会、歯科医師会、看護協会、助産師会、栄養士会、臨床検査技師会、診療放射線技師会、鍼灸マッサージ師会、獣医師会、歯科衛生士会、その他福



社関係の様々な代表である先生方もご参加されており、こちらも大変豪華な先生方ばかりでした。

祝賀会では美味しいお酒や食事を用意されており、自然と話が弾んで恩師である先生方や斉藤会長とも名刺交換をさせていただくことができました。会員数が増えたことから斉藤会長と直接お話しできる機会はとても貴重であり、いつも画面越しで眺めていたヒーローに出会えたような感動を覚えました。この祝賀会に参加させていただいたことで、理学療法士の役割や価値について再確認する機会を得ました。私たちは患者様の健康と生活の質を向上させるために日々努力していますが、今回の記念式典と祝賀会を通じて、私たちの存在が社会で高く評価されていることを実感しました。



丁度タイミングよく印旛ブロック長を担当させていただいていたことからこのような式典に参加させていただき、私にとって非常に有意義な経験となりました。この経験を活かしてさらに理学療法士として、ブロック長として、使命を果たしていきたいと思っております。

●一般社団法人千葉県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会取材報告

ニュース編集部 纈 纈 琢 磨
加藤木 丈 秀
田 畑 吾 樹

令和5年5月20日 Hilton 東京ベイにて一般社団法人千葉県理学療法士会（以下：当県士会）創立50周年記念式典と祝賀会がおこなわれた。



式典では熊谷俊人千葉県知事をはじめ、千葉県内の選挙区選出の衆参両国会議員先生方、理学療法士で参議院議員である田中まさし先生、前参議院議員の小川かつみ先生、日本理学療法士協会（以下：協会）斉藤秀之会長、各関係団体の役員の皆様、関東甲信越ブロックの各士会長の皆様など数多くの来賓の方々をお迎えして盛大に開催された。



冒頭で当県士会 田中康之会長の挨拶から始まり、熊谷県知事をはじめ来賓の方々からの祝辞を頂戴した。その後、当県士会に長年貢献して下さった渡辺京子先生、青木主税先生、嶋田裕敬先生が表彰され、代表して渡辺京子先生から、当初のリハビリテーションは急性期から生活期まで患者を支援できたが、現在は急性期、回復期、在宅など役割が細分化されること



で、理学療法士の在り方も変化してきている。といった、お言葉をいただいた。

今回の式典のなかで当県士会 田中会長、協会 斉藤会長、前参議院議員 小川先生、参議院議員 田中先生によるシンポジウムが行われ、特にテクノロジーやAIが発達している現代における理学療法士の役割について熱い意見交換がおこなわれた。シンポジウムも大いに盛り上がり盛会の内に式典が終わった。



部屋を変え祝賀会がおこなわれた。祝賀会では、当県士会 田中会長からの挨拶と、千葉県内の選挙区選出の衆議院議員の先生や参議院議員 田中先生、前参議院議員 小川先生、協会 斉藤会長、各関係団体の役員の皆様、関東甲信越ブロックの各支会長の皆様など多くの来賓の方々も参加された。



当県士会の理事、各ブロックのコアメンバーの方々や各部局、委員会の方々など多くの会員の皆様も参加されていた。そして、久しぶりの対面での会食ということもあり、多くの方々が名刺交換をされていたり、祝賀会の途中では、当県士会員有志による余興も行われ会場は大いに盛り上がり、笑い声や話し声の途絶えない賑やかな祝賀会となり盛会の内に祝賀会も執り行われました。



❖各部局士会活動案内・報告❖

📠学術局報告

学術局 局長 藤 井 顕

登録理学療法士取得や更新を目的とした士会承認研修会や症例検討会の登録が少しずつではありますが増えてきております。各施設で開催されています勉強会や症例検討会を登録される際には、千葉県理学療法士のホームページに掲載されています承認要件をご確認の上、申請をお願いいたします。また、県士会主催の研修会への参加も是非ご検討ください。

【前期研修・後期研修の履修および更新ポイントの取得について】

学術局 局次長 小 林 好 信

今年度新入会員の皆さまは、9月よりe-learningにて前期研修の座学の聴講が可能となります。来年度にかけて計画的な履修をお願いいたします。後期研修履修中の皆さまについては、7月より士会主催症例検討会が開催されますので、発表や聴講により18コマを履修してください。併せて、座学の聴講もお進めください。

登録理学療法士の皆さまは、5年間で50ポイントの更新ポイントの取得が必要となりますので、学会参加や更新研修会の聴講などによりポイントを取得いただきますようお願い申し上げます。

【更新研修会について】

学術局企画運営部 部長 室 井 大 佑

2022年度から生涯学習制度がリニューアルされ、徐々に登録理学療法士が増えてきておりますが、その意義や更新に関する詳細についてはまだ理解していない方も多いかと思えます。そこで、8月28-29日に開催される学術局主催の更新研修会では、新生涯学習制度を理解しつつ、学校教育や臨床教育について参加者の方々と一緒に考える機会を設けます。2日間連続での参加がポイント付与の条件となりますので、ご理解のほどよろしくをお願いいたします。そのほか、ブロック主催等の登録または、認定・専門理学療法士の更新研修会（WEB開催）に関しては、千葉県理学療法士協会ホームページ（士会主催研修会）をご参照ください。

【研究支援セミナーについて】

研究支援委員会 委員長 高 杉 潤

研究支援委員会では、今年度も県士会員の皆様の研究活動に役立つセミナーを企画しています。既に大学院（進学）に関する座談会を開催しましたが、非常に密なディスカッションができ、盛況をいただきました。今後はPTの臨床力を高める研究法入門、タイムマネジメントのコツ、抄録作成やプレゼンテーションの極意などのセミナーも開催していく予定です。さらに、今年度から県士会で研究費の助成制度を設け、研究者の支援もしていく予定です。それに付随したセミナーも企画していますので、県士会のホームページを適宜ご確認ください。

📠千葉県障害者スポーツ大会コンディショニングサポート活動報告

障がい者スポーツ支援部 部長 福 田 大 輝

令和5年度千葉県障害者スポーツ大会の水泳・陸上の各会場にてコンディショニンググループを設置したので、活動の様子をご報告いたします。

5月21日（日）に水泳競技（千葉県国際総合水泳場）、5月28日（日）に陸上競技（千葉県総合スポーツセンター陸上競技場）が開催され、のべ23名の県士会員を派遣し選手対応等実施しました。

4年ぶりのコンディショニンググループ開設でしたが、大きな事故等なく無事に活動を終えることができました。

活動内容はコンディショニンググループにて選手に対するストレッチやコンディショニング、セルフケア指導の他に、障がい相談や家族やコーチに対しての指導なども行いました。競技場内や観客席などを巡回して競技中の事故や体調不良者がいないかなど見回りもしています。コンディショニンググループ利用者数はのべ30名を超え、来年も利用したいなど多くの声をいただきました。

コンディショニンググループとは別に、障害区分判定の活動も行いました。大会前に障害区分判定を行った選手に対して、実際の競技場面を観察し、判定した障害区分が妥当なものかを判断します。障がいには部位や程度によって運動能力に差が出るため、公平に競えるように同程度の障がいのある選手同士で種目などを

分ける目的で行うのが障害区分判定です。

千葉県障害者スポーツ大会は9月以降も個人競技や団体競技が続き、県士会として引き続きコンディショニングサポートをしていきますので、またご報告させていただきます。10月には鹿児島県で全国障害者スポーツ大会も開催予定です。全国障害者スポーツ大会には毎年県士会員を派遣しておりますので、その様子もご報告できたらと思います。

①コンディショニングルーム



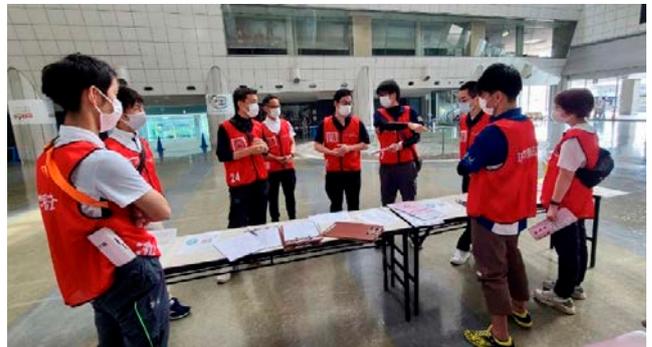
②選手コンディショニングの様子



③障害区分判定の様子



④水泳競技時のミーティングの様子



⑤水泳競技時の全体ミーティングの様子



⑥陸上競技場の様子



第29回千葉県理学療法学会大会関連報告②

広報局長 額 額 琢 磨

第29回千葉県理学療法学会大会

- テーマ：点から線へ ～存在の再確認～
- 会期：2024年3月3日（日）
- 会場：国際医療福祉大学 成田キャンパス
- 大会長：宮内 守
(イムス佐原リハビリテーション病院)
- 準備委員長：横谷 浩士（国保旭中央病院）
- 開催方式：ハイブリッド開催（対面発表・リモート発表・オンデマンド配信予定）
- 基調講演：「(仮) リハビリテーションの真意」
吉尾 雅春 氏
(千里リハビリテーション病院副院長)
- 第29回千葉県理学療法学会大会HP 二次元コード



●準備委員長挨拶

「第29回大会について」

準備委員長 横谷 浩 士
(総合病院国保旭中央病院)

この度、第29回千葉県理学療法学会大会の準備委員長をやらせていただくことになりました、香取海匝ブロック、総合病院国保旭中央病院の横谷と申します。

養成校時代の恩師でもある副会長の竹内先生から、第29回大会は是非香取海匝ブロックで開催をとお声掛けをいただいたことがきっかけでありました。戸惑いもありましたが、すぐに「学術活動をより香取海匝ブロックに浸透するには、とても良い機会になるのではないか」と感じ、前向きにやってみようと思いました。学会を開催するには大会長をとということで、当ブロック長のイムス佐原リハビリテーション病院内の宮内先生をおいて他にはいないと感じ、当初は大変無理を言ってお願いをし、承諾をいただきました。

今回の会場は国際医療福祉大学成田キャンパスをお借りすることになりました。香取海匝ブロックならではの開催をとということで、当ブロック内を会場にした

かったのですが、第28回大会の盛会ぶりを目の当たりにして、この規模の学会を開くのに適切な場所は当ブロックにはないと感じました。それだけ千葉県理学療法士会が大きく発展してきているということであると強く感じましたし、その確かな一歩を刻んだ第28回大会長松田先生をはじめとした準備委員会の皆様には、改めてこの場を借りて敬意を表します。

さて、今回のテーマは「点から線へ ～存在の再確認～」となっております。宮内大会長の熱意が凝縮されたテーマです。詳細は6月に公開されました第29回大会ホームページ・大会長挨拶をご覧くださいと思いますが、私なりにこのテーマについて考えますと、まさに今、理学療法士にとって重要なキーワードであると思います。「急性期・回復期・生活期」、「患者さん・ご家族・理学療法士」あらゆる側面で、それぞれの点がつながって線になっていくことが、どれだけ有益なアウトカムを生み出すか。日常臨床でなんとなくイメージはあるものの、具体的に改めてつながりについて考えてみると、その重要性に気付かされます。患者さんを含めそれぞれがつながっていくこと、それぞれがそれぞれの場面で活躍していくこと。それらが患者さんの回復を最大化させますし、患者さんの自立につながっていきますし、患者さん自身の存在の再確認に、ひいては我々理学療法士自身の存在の再確認にもつながっていくと思います。

第29回大会では対面の発表を重視しておりますが、一方でリモート形式の発表の機会も貴重であると考えております。学会は対面で議論をしてこそと個人的には考えますが、当日に遠方で会場に来られない、お子さんの世話や介護などがあり家を空けられないなどの方のためにも、15演題までと限りはありますが、リモート発表のセッションを設けました。ぜひ日頃の成果を積極的に発表していただき、当日は理学療法士のみならず全関係者がつながりを持てる場になればと思います。ぜひご参加をご検討いただきますようお願いいたします。



☒一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和5年度 第2回理事会 議事録

日 時：令和5年5月12日（金）19時00分～20時30分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕
小川明宏、高杉 潤、桑江 豊
松田 徹、山岡郁子、中村亮太
三和真人、外口徳章、小林好信
松川基宏、渡辺政基、藤川孝彦
森田悠介

〈監事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈委任状〉榎尾英之

〈欠席〉西田裕介、草木雄二

〈委員長〉内村 元

〈第29回学術大会長〉

宮内 守

〈次期理事〉大住崇之、川村雄輔、森下勝行

〈事務局〉奥村龍之

〈書記〉奥村龍之

報告に先立ち、オブザーバー参加の次期理事三名よりご挨拶をいただいた。

1 報告

1) 第29回千葉県理学療法学会の進捗報告について

大会長の宮内氏より現在の準備進捗状況、準備委員会組織体制について報告された。

テーマ【点から線へ ～存在の再確認～】に沿って学術大会の趣旨を説明された。

宮内氏は報告後退室された。

2) 会長報告

4月14日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

4月11日に発生した地震に関して、千葉JRATの動きについて報告された。

3) 三役局長会議報告

三役局長会議は5月8日に開催され、議案調整等について報告された。

学術大会で調査した県士会への入会メリットの結果について共有した。

スポーツサポートスタッフ養成研修の講師料につ

いて議論した旨、また、今後謝金規程についてWGを立ち上げ、金額の変更も含め修正検討をしていくことが報告された。

50周年記念式典当日の準備依頼があった。

4) 事務局報告

メルマガの配信ルールを事務局内で策定していることが報告された。

LINE公式アカウントの運用について検討を続けていることが報告された。

県士会活動の対面時に義務付けされている承諾書については取りやめとなったことが報告された。

Zoomライセンスの追加契約について検討を進めていることが報告された。

5) 新人歓迎セミナーについて

日程とプログラムについて再度周知され、申込数が現状少ないので、申込期間の延長がされている旨、報告された。

6) 入会メリット調査報告

第28回学術大会時に県士会への入会メリットの調査結果について報告がされた。

今年度、調査方法を再考したうえで調査を続けていくことが報告された。

2 審議事項

1) 令和5年度予算案の修正について

50周年記念事業準備金、関ブロ学会準備金の積立金額の修正を行うことについて審議のうえ、賛成多数にて承認された。

2) ブロック運用規定について

前回の理事会後に意見集約をした修正案を共有。現在の修正案を各理事が再度確認し意見を収集し、その後、ブロック長に提示し本部会議において意見を収集した後、理事会にて最終承認の決議を諮ることについて審議され、賛成多数について承認された。

3) 名誉会員について

前回の理事会で承認された名誉会員については十分な議論がされておらず、定款上の問題も生じているため、名誉会員については取り下げること。

50周年記念式典においては、会長の経験者又は協会賞を受賞し、協会を退会された8名について感謝状を贈呈し、それに伴い、定款における名誉会員について今後変更をしていくこと。

県士会独自の会員指定を設定すること。

上記3点について審議され、賛成多数について承認された。

会長経験者5名については、感謝状を贈呈したい旨、事前に確認したうえで対応すること。

次回、令和5年度第3回理事会

日時：令和5年6月9日（金）

会場：WEB会議

以上

●令和5年度 第3回理事会 議事録

日 時：令和5年6月9日（金）19時00分～20時30分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕
小川明宏、高杉 潤、桑江 豊
松田 徹、山岡郁子、中村亮太
三和真人、外口徳章、小林好信
松川基宏、草木雄二、藤川孝彦
森田悠介

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈委 任 状〉榎尾英之、渡辺政基

〈欠 席〉西田裕介

〈委 員 長〉内村 元

〈次期理事〉大住崇之、川村雄輔、竹内真太
深田 亮

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明、黒川 諒

1 報告

1) 会長報告

5月12日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

2) 三役局長会議報告

三役局長会議は6月5日に開催され、総会の議案調整等の議題について報告された。

3) 事務局報告

代議員総会の出欠確認等進めていることが報告された。

メルマガ登録者数について1,005件であること、

及び運用ルール、フローの検討を事務局内で進めていることが報告された。

Zoomライセンスの追加契約について1件追加購入を進めることが報告された。

LINEの活用方法に関する検討を継続することが報告された。

4) 監事監査について

6月5日に監事監査が行われた。西山監事より、令和4年度事業について業務が適正に行われていること等について報告された。

5) 代議員総会について

6月25日に行われる代議員総会について議案等の共有がされた。

6) 2023年度新人歓迎セミナーの申込状況について

6月4日に行われた新人歓迎セミナーについて、参加者数等について報告された。

7) 災害に備え理学療法士が平時にできることに関するアンケート

6月29日に行われるBCPセミナー後に行う予定となっているアンケートについて報告された。

なお、BCPセミナー開催後にアンケートを行うこと、日常業務の中で理学療法士ができることを啓発すること、及び調査した結果を県士会学術大会で発表すること等について報告された。

8) 表彰規定について

表彰委員会内規改定の審議に先立ち、現行の規定について再度確認がされた。

2 審議事項

1) 表彰委員会内規改定について

特別功労賞および功労賞に関する選出基準について審議された。候補者については、三役局長会議にて推薦され、理事会にて承認されたものについて、賛成多数にて承認された。

2) ブロック運用規定について

5月31日にブロック長・地域活動支援本部合同会議を受けて修正を加えられたブロック規定について審議され、承認された。

3) 令和5年度表彰者について

以下の候補者について推薦され、賛成多数にて承認された。

特別功労賞候補3名 内村 元氏、竹内弥彦氏
薄 直宏氏

功労賞候補7名 三和真人氏、山岡郁子氏
高杉 潤氏、齋藤義雄氏
岡田 亨氏、藤川孝彦氏
上田知成氏

【根拠】 5,206名×100円=520,600円（令和5年1月
1日付け会員数×100円）

4) 予算案について

県POS連携推進委員会の令和5年度予算について、520,600円（当初520,000円）に修正することについて審議され、賛成多数にて承認された。

次回、令和5年度第4回理事会

日時：令和5年6月25日（日）

会場：千葉県立保健医療大学幕張キャンパス

以上



❖お知らせ❖

令和5年6月25日

会員各位

告 示

一般社団法人千葉県理学療法士会選挙管理委員会
委員長 内村 元

2023年6月25日に行われました一般社団法人千葉県理学療法士会第7回代議員総会において、第7回一般社団法人千葉県理学療法士会役員選挙の結果が承認され下記の19名の会員の方々の当選が確定いたしました。

1. 藤井 顕 (藤リハビリテーション学院)
2. 大住 崇之 (けやきトータルクリニック)
3. 竹内 弥彦 (城西国際大学)
4. 中村 亮太 (五香病院)
5. 竹内 真太 (国際医療福祉大学成田保健医療学部)
6. 小林 好信 (千葉医療福祉専門学校)
7. 三和 真人 (千葉県立保健医療大学健康科学部)
8. 渡辺 政基 (特別養護老人ホーム上総園)
9. 高橋 聡 (特別養護老人ホームやすらぎ園)
10. 川村 雄輔 (季美の森リハビリテーション病院)
11. 小川 明宏 (東邦大学医療センター佐倉病院)
12. 森田 悠介 (九十九里病院)
13. 高杉 潤 (東都大学)
14. 深田 亮 (千葉大学医学部附属病院)
15. 薄 直宏 (東京女子医科大学附属八千代医療センター)
16. 田中 康之 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)
17. 桑江 豊 (城西国際大学)
18. 松田 徹 (亀田リハビリテーション病院)
19. 森下 勝行 (城西国際大学)

敬称略、受付順、カッコ内は所属

新役員就任の御挨拶

一般社団法人千葉県理学療法士会
会長 田中 康之

平素は本会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、6月25日開催の一般社団法人千葉県理学療法士会代議員総会において、役員を選任が行われ下記のとおり新たに就任いたしました。県士会員のための県士会運営に尽力いたしますので、何卒宜しく願いいたします。

一般社団法人 千葉県理学療法士会

会 長

田中 康之 (再任)

副会長

竹内 弥彦 (再任)、薄 直宏 (再任)

高橋 聡 (再任)、小川 明宏 (新任)

監 事

西山 晴彦 (再任)、児玉 美香 (新任)

松川 基宏 (新任)

理 事

三和 真人 (再任)、藤井 顕 (再任)

高杉 潤 (再任)、松田 徹 (再任)

桑江 豊 (再任)、小林 好信 (再任)

森田 悠介 (再任)、渡辺 政基 (再任)

中村 亮太 (再任)、大住 崇之 (新任)

森下 勝行 (新任)、竹内 真太 (新任)

深田 亮 (新任)、川村 雄輔 (新任)

❖ 編集後記 ❖

●千葉県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会 特別号

ニュース編集部 部長 ^{こう} 纈 ^{けつ} 纈 ^{たく} 琢 ^ま 磨

暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回は巻頭より千葉県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会特集ということで盛大にページ数を使い会員の皆さまにご報告させていただきました。

田中会長・薄副会長・竹内副会長・豊岡印旛ブロック長、お忙しい中、私のミスで急ピッチで原稿を作成していただき、誠にありがとうございました。

今回、私も取材を兼ねて式典と祝賀会に参加させて

いただきましたが、式典では今までの50年とこれからの50年を思い・考える良い時間でした。

祝賀会では、来賓の先生方や各部署・各ブロックの先生方ともお話ができ、とても充実した楽しい時間でした。皆さまありがとうございました。



今回のニュース原稿の締め切りは
令和5年8月20日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

[千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ](https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html)

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈纈 琢磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田中 康之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail t.kouketsu@asunargroup.jp